

起訴を求める！怒りの決議

関西電力前役員は、原子力発電所の建設とその運営をめぐる多額の資金から業者を回遊させて金品を受け取り、自らの資産を増やし続けてきた。

その金額は、多い者で1億円を超すという信じられないものだった。

還流の方法では、菓子箱の底に小判型の金塊、米株券までと多様で私たちは呆然とするほかはなかった。

また、背広の仕立券が50万円程度もすると言うのに「盆暮れの使い物」との認識を示すなど、庶民感覚では考えられないような認識を示している。

岩根前社長などが「お金は預かっていた。」と言っているが、金沢国税局の指摘があるまで全く返す意思が感じられないものであった。

それが証拠に2019年9月27日の新聞報道直前に返された金額は、半分に満たないものであった。

驚くべきは、金沢国税局への追徴課税金に対して関西電力としてその追徴金を会社の金で補填していたという驚くべきことまでやっていた。

また、森山氏との7年間の飲食費は、5000万円を超えるとのことだった。

ともかく、原発建設をめぐってこの様に何処かで生み出されたお金や会社として支払った不正と思われるお金が信じられない巨額なものであると言うことだ。

電力会社のお金は、市民が電気料として払ったものや国から出た税金で賄われているのである。

その様な公金とも言えるお金を好き勝手に使っていたことに対し、絶対許せないとの思いで一杯である。

私たちは、まだまだあるであろう不正な金が、何処から出て何処に渡って行ったか、その解明を徹底的に求めて行く。

そのため、大阪地方検察庁には、関係先の強制捜査と関係者の任意ではない聴取によって真実を徹底的に暴きだすことを強く求める。

そして巨悪者を司法の元で罰し、二度とこのようなことが起きないようにすることを強く求める。

2021年6月4日

関電の原発不正マネー徹底究明

起訴を求める！怒りの市民集会